

長崎・平和公園 祈念像前に「笑顔の傘」並ぶ

2010年8月7日22時37分

[B!](#) [RSS](#) [印刷](#) [ブログに利用する](#) [印刷](#)

平和を願い子供たちの笑顔がプリントされた傘が平和祈念像の前に広げられた＝7日午後2時6分、長崎市の平和公園、溝越賢撮影

被爆地・長崎は9日、65年目の原爆の日を迎える。

長崎市松山町の平和公園では、午前10時35分から市主催の長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典が開かれる。核兵器保有国の英仏両国が初めて代表を派遣し、過去最多の32カ国が参列する。

7日には平和祈念像前などに、子どもたちの笑顔が大写しになった傘100本が並べられた。「被爆地から希望のメッセージを発信しよう」と東京のアートディレクター水谷孝次さん（59）が企画した「メリー・アンブレラ・プロジェクト」。1日に広島市の平和記念公園で催したのに続いて長崎にやってきた。

笑顔の写真は大地震のあった神戸や中国・四川省、大津波のあったインドネシア・バンダアチェで撮影した。